



日本共産党 北区議会議員

のの山けん 区政レポート

http://ken-nonoyama.com/ mail@ken-nonoyama.com

No.569 2020.8.19

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

新型コロナ感染抑止へ
PCR検査体制の拡充を

署名の力で

国と東京都を動かそう



池内さおり前衆院議員(中央)、そねはじめ都議(右)とともに署名の訴え

8日、赤羽駅東口で、新型コロナウイルス感染拡大を抑えるため、東京都にPCR検査体制の抜本的強化を求める署名への協力を呼びかけました。(のの山けん)

人口あたりの検査 名行動には、日本共
産党の池内さおり前
衆院議員、そねはじめ都議、北区議団が
京都の責任が問われ 参加。感染震源地(エ
ピセンター)を明らか
るを得ません。署

北区議会各会派・ 無会派に申し入れ

日本共産党北区議員団

日本共産党北区議員団の山崎たい子幹事長は、18日に開かれた幹事長会で、各会派と無会派議員に、北区議会としてPCR検査・医療体制の拡充を求めていこうと呼びかけ。その後、同趣旨の申し入れ書を、各会派、無会派議員に届けました。

千代田区で 介護職員検査

すでに東京23区で

北区でもこうした
検査を早期に実施する
べきです。

かにして網羅的なPCR検査を実施することや、介護・福祉施設や保育園、学校など人との接触が避けられない職種については、全職員を対象にして定期的な検査を実施することなどを訴えました。

も、先進的な動きが始まっています。

千代田区では、区内の介護施設で働く職員全員を対象に、おおむね3カ月ごとに定期的なPCR検査を実施することを決め、6日には区内の特別養護老人ホームの職員40人が検査しました。

コミュニティバス新規路線

導入優先順位を設定

現在北区内では、王子・駒込ルート、田端循環ルートの2路線のコミュニティバスが運行しています。新規路線について検討している北区地域公共交通会議は、6月23日に第3回の会議を開き（コロナ感染防止のため書面開催）、新規路線の導入優先順位を設定しました。（のの山けん）



総合得点の評価結果および優先順位 ※地域公共交通会議の資料をもとに作成

評価指標	優先順位	浮間	赤羽西	王子東	滝野川西	赤羽東	王子西	滝野川東
		1	2	3	4	5	6	7
公共交通機能を向上すべき面積		25	15	15	5	10	5	5
地域からターミナル駅までの距離		15	3	6	6	3	9	3
高齢者人口の密度		3	12	15	9	9	6	6
高齢者のみ世帯の割合		2	5	4	2	2	4	1
高齢者の免許		2	5	2	4	4	1	1
斜面の面積の割合		2	10	2	10	2	4	2
従業者数（働きにくい居住者）の密度		1	1	5	3	3	1	3
主要施設、商店街、大規模小売店舗の立地密度		5	1	1	2	2	2	5
北区景観百選		1	3	4	1	3	3	5
コミュニティバスの利用意向		5	2	1	4	2	2	1
地域で公共交通を支える意識の高さ		4	5	5	4	1	3	1
合計		65	62	60	50	41	40	33

今年の3月に策定された「北区基本計画2020」は、「だれもが安心して移動できるように、…コミュニティバス等、地域公共交通による移動手段の確保に向けた取組みを推進します」との方針を示しました。

この方向に沿って昨年度2回開かれた地域公共交通会議では、区内の公共交通の現状分析や各地域の導入候補地の抽出、優先順位を検討する際の評価指標などについて検討、地

域公共交通に関する区民アンケートも実施されました。

今回の会議では、区内7つの地域ごとに、評価指標に基づく評価を点数で公表、その合計点によって優先順位を設定しました。第1位は、公共交通機能を向上すべき面積や地域からターミナル駅までの距離などで高い得点だった浮間でした。

地域公共交通会議の詳しい情報はこちら



2016年10月に、赤羽駅東口と浮間舟渡駅を結ぶ国際興業バス赤06便が廃止となり、移動手段を失った地域住民らが交通弱者の救済を求め署名運動や議会陳情に。その後も、ねばり強く運動を繰り返してきました。

実現まであと一歩。住民の運動が区政を動かしています。

区政を動かした住民の運動

コミュニティバスの新規路線は、多くの住

新規路線運行までの予定

2019～2020年度
地域公共交通計画
の策定

2021～2022年度
実証運行等の準備
※2022年度の実証運行めざす

2023～2024年度
試験運行を継続し
本格運行へ